

2014年11月10日

ニッセイ情報テクノロジー株式会社

CMMI レベル3 達成 (継続)

ニッセイ情報テクノロジー株式会社は、2014年9月、年金ソリューション事業部 年金ソリューションブロック、団保・共済ソリューション事業部 共済保険・自治体ソリューションブロックの両ブロックにおいて、Capability Maturity Model Integration® (CMMI®)の成熟度レベル3 を達成しました。

CMMI®は、米国カーネギーメロン大学・ソフトウェア工学研究所(CMU/SEI)が開発し、現在は同大学の子会社であるCMMI研究所が提供している、プロセス成熟度モデル(能力成熟度モデル統合)であり、ソフトウェア開発の一連のプロセスの成熟度を示す尺度として、国際的に普及しております。

当社では、プロセスの標準化、継続的なプロセス改善に取り組んでいくため、2005年7月よりCMMI®への取組をスタートしました。両ブロックの前身である企業・福祉ソリューション事業部 企業・福祉ソリューションブロック（東京）では2011年1月からアプレイザルに向けた活動を開始し、2011年10月にCMMIの成熟度レベル3を達成しております。このたび両ブロックにおいてCMMIインスティテュート認定リードアプレイザによる「CMMI-DEVv1.3」に基づく正式アプレイザルを行い、継続して成熟度レベル3 を達成しているとの評価を得ました。

当社は、今後とも継続的な開発・管理プロセスの改善を通じ、ソフトウェアの品質向上を実現すると共に、各種ソリューションの提供に向けた取組を積極的に実施して参ります。

*CMMI®およびCapability Maturity Model® は、カーネギーメロン大学により、アメリカ合衆国特許商標庁に登録されています。

以上

【本件（ニュースリリース）に関するお問い合わせ先】

経営企画部 企画グループ 矢崎 大史

矢崎 hiroshi_yazaki@nissay-it.co.jp

【本件（内容）に関するお問い合わせ先】

年金ソリューション事業部 年金ソリューションブロック 原嶋 努

原嶋 tsutomu_harashima@nissay-it.co.jp